



BHAKTI NOTE

実践と探究

003|2022





過去を忘れ  
未来を案じることなく  
現在の義務を果たす者  
その者こそ悟りを得た者

SAI SAI SAI



人間の第一の義務とは？



過去は過去です。未来は不確かなもの  
です。ただ「今」だけが私たちの  
手の中にあります。

今を生き、自らの喜びを同胞と分か  
ち合うことが人間の第一の義務です。



人間はあらゆる生物の中で最も幸運な存在です。この全宇宙に比べれば、人は原子のように極めて小さなものですが、にもかかわらず、人はその創造の広大さを理解することができるとのことです。

SAI SAI SAI



真の人間とは？



自らのハートという畑で愛という収  
穫を得る者は、誰であらうと真のキ  
リスト教徒であり、真のシーク教徒  
であり、真のヒンドゥー教徒、真の  
イスラム教徒なのです。事実、その  
ような人こそが真の人間です。



人は愛なしに生きていくことは  
できません。



この愛の原理が「ヒランニヤガルバ」  
(黄金の宇宙卵、黄金の胎児)です。



「ヒランニヤガルバ」は人間の身体の右側 (Right) に位置するものであり、肉体上の心臓は左側 (left) に位置しています。左側 (left) にあるこの心臓はいつの日にか環境の変化とともに消え去る (left) ものです。



人体の右側 (right) に位置する

「ヒランニヤガルバ」は常に正しい (right) のです。

永遠であり、不滅であり、そしてあらゆるものを包含しています。

人間のみなならず、鳥や獣、生き物たちすべての内に存在しています。



ヴェーダは宣言しています。

神はあらゆるものの内に存在する

神は全宇宙に浸透している



愛は「ヒランニヤ」(黄金)から生  
じました。

反作用、反響、反射という三つの原  
理が「ヒランニヤガルバ」から生じ  
ました。

SAI SAI SAI



人生の浪費とは？



人は真の自己を理解できな  
いままに、  
一時的ではかない束の間  
の喜びを追  
い求めて人生を浪費して  
いるのです。



金は、銀や銅や真鍮といった様々な金属を混ぜ合わせることににより価値を失い、輝きと独自性を失います。

SAI SAI SAI



世界が陥っている窮状とは？



同様に、金に例えられるハートもまた、世俗的な欲望という金属と結びつくことにより、その価値と輝きと独自性を失っているのです。これが現在の世界が陥っている窮状です。



人は自らの神性を忘れ、鬼や悪魔や  
獣のように振る舞っています。

神聖な愛は「ヒランニヤガルバ」か  
ら生まれます。



この神聖な愛は、

与え (give) 許す (forgive) へと

の内にあります。利己的な愛は、

獲得し (get) 忘れる (forget) こと

の内にあります。

この神聖な愛は人間に欠かすことのできないものです。

SAI SAI SAI



ただ神のみを求めるとは？



ハヌマーンは言いました。

「おお、母なるお方よ、この世に神の愛よりも偉大なものはありません。私はどんな称号も望みません。ただラーマの愛を願うだけです。」



尊神ラーマの愛がないなら、たとえ全世界が私の支配下にあつたとしても幸せではいられません。私がラーマの愛を受けるとき、その時はじめて私の人生は成就することでしょう」



ハヌマーンのような力強い者が、  
他の何ものをも求めず、  
ただラーマの愛だけを願いました。

SAI SAI SAI



人間の特質とは？

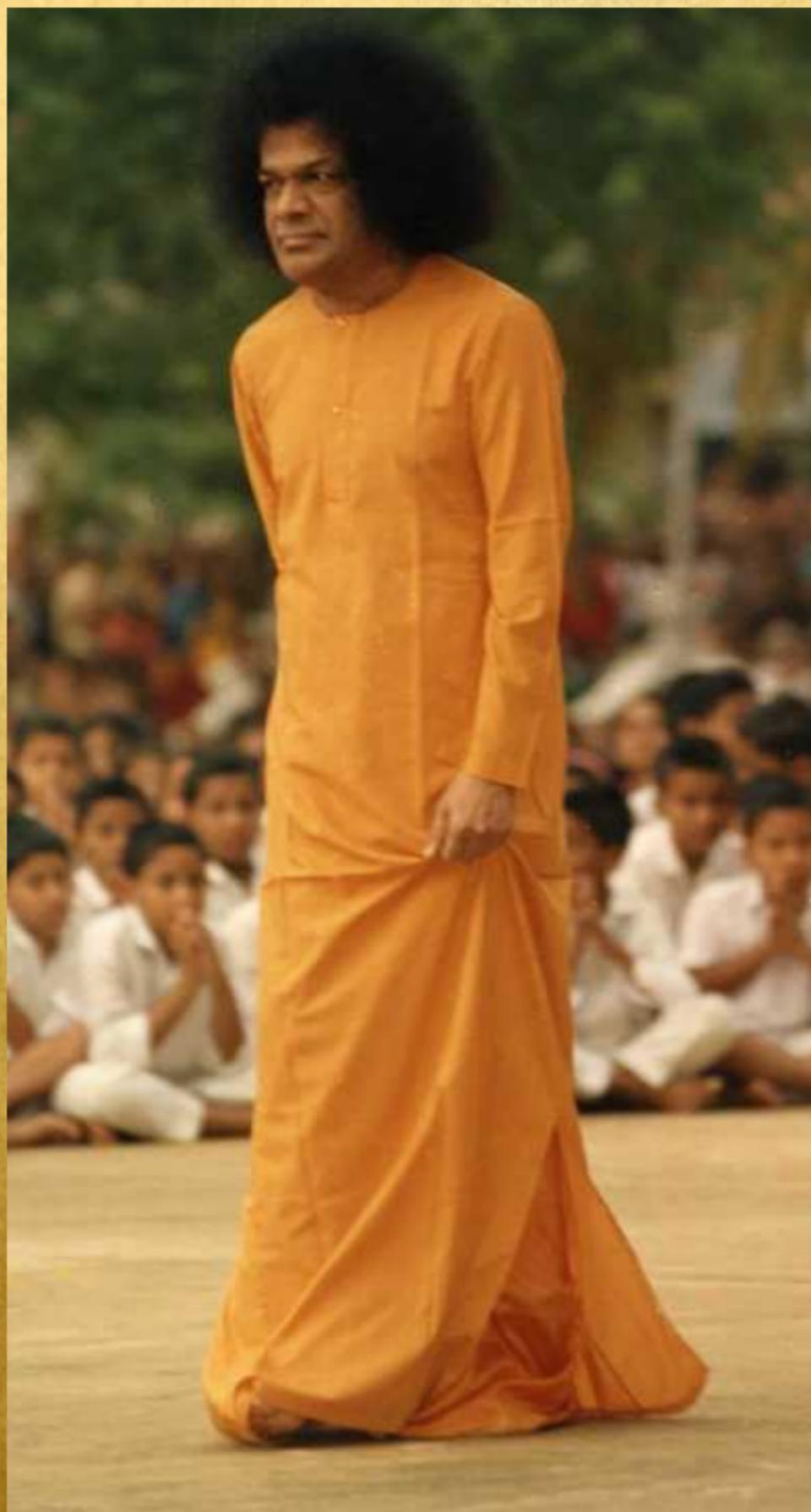


愛はすべてです。

人間の特質は内なる愛を燃え立たせ、  
愛をもって語り、愛をもって行動す  
ることにあります。



この世の中に、心に命令することのできる人は一人もいません。心を支配する力をもっているのはただ、神のみです。したがって、神は「心を支配する者」（支配者）として知られているのです。





世俗の知識に  
心を奪われることのないように



五つの感覚は神からの贈物です。  
正しく使いなさい。  
そうしてはじめて、  
あなたは真の自分とは何かを  
理解することができます。



五感を適切に用いることなしに、  
聖典に精通したり靈性修行を行った  
りすることが、一体何の役に立つと  
いうのでしょう？



ブツダは五感を制御し、正しく用いることによつてニルヴァーナへと到達しました。ニルヴァーナとは何ですか？ニルヴァーナとは至福との融合に他なりません。



水泡は水の中で生まれ、水の中で保たれ、ついには水に溶け込みます。同様に、人は至福の内に生まれ、至福の内に保たれ、やがては至福に融け込みます。



至福は、五感を制御することによつて経験できるとは、この世の経験で済むものではない。これが真の靈性修行です。

単に神の御名を歌うだけでは十分ではありません。



「アーナンダ、その名のとおり、おまえは至福（アーナンダ）を経験すべきだ。決して悲しみの涙を流してはいけない。おまえは至福の化身だ。私たちは皆、神（ブラフマー）の具現なのだ。」



そう言ってブツダはその手をアーナ  
ンダに置き、ニルヴァーナに達した  
のです。  
誰であろうとこの真理を理解する者  
は、至福を経験し、神へ到達するこ  
とができます。



あなた方は、黄金にも例えられる自らのハートに、世俗的な欲望という金属を混ぜ合わせているのです。その結果、ハートは汚され、至福という真の性質は失われてしまいました。



古（いにしえ）の人々は伝えて  
います。

「至福はあなたの真の姿を視覚  
化することにある、そしてこれ  
がアートマの原理である」



感覚を正しく使うことによつて、  
アトマの知識が得られます。



賢者パタンジャリは言いました。

感覚の制御こそが真のヨーガである



感覚を制御しないのであれば、  
神の御名を繰り返し唱えることや、  
苦行といった霊性修行はすべて、  
全く無益なものとなります。

SAI SAI SAI



感覚の制御の自動化とは？



何をしようとも、神を喜ばせようという気持ちで行いなさい。

一旦このような気持ちを育めば、あらゆる感覚は自然に制御されることとでしよう。

SAI SAI SAI



神への全託とは？



あなた方は、神に全託することは  
かなり難しいことであると感じて  
います。



あなた方が神への確固たるゆるぎない  
信仰をもっていないために、難しい  
ことだと感じるのです。



神は存在しません。

神の存在しない場所はどこにもありません。神性なくして存在するものは一つとしてありません。それぞれが皆、神の化身です。



もしもこの真理を完全に信じるなら、  
困難なことなど何も起こりはしない  
でしょう。  
信仰が不完全な場合には、何である  
うと達成することが難しいと感  
じるのです。



神を信じ、神を愛しなさい。  
愛は神です。



神への信仰をもつなら、どんな努力も必ず実ります。どのようなことであらうとも、それがどんなに困難なことであろうとも、神の恩寵によって必ず達成されます。



プルシヤとは、  
アートマ、意識（チヤイタニヤ）  
生氣（プラーナ）  
個々の魂（ジーヴイ）  
を意味しています。



人生の目的（プルシヤールタ）とは  
意識の原理のダルマ、  
生命の原理のダルマ、  
アートマダルマを意味するのです。



融合こそが真のアートマダルマで  
あり、真の目的（プルシャールタ）  
です。

SAI SAI SAI



真の富とは？



英知こそ真の富です



多様性の中に一体性を見ることが  
真の英知です。  
人は英知という富を得なければ  
なりません。



人は解脱への欲望を抱くべきなので  
す。人は、アトマの原理を理解し  
神へ到達したいという欲望を抱くべ  
きです。



靈的なダルマこそ真のダルマです。  
これによってのみ解脱が授けられ  
ます。



解脱とは何でしょう？

解脱とは単に、神に到達すると

いうことではありません。

思いと言葉と行為が神と一つにならなければなりません。



一旦大海に融けこむと、  
河はその名や形や特性を失います。

SAI SAI SAI



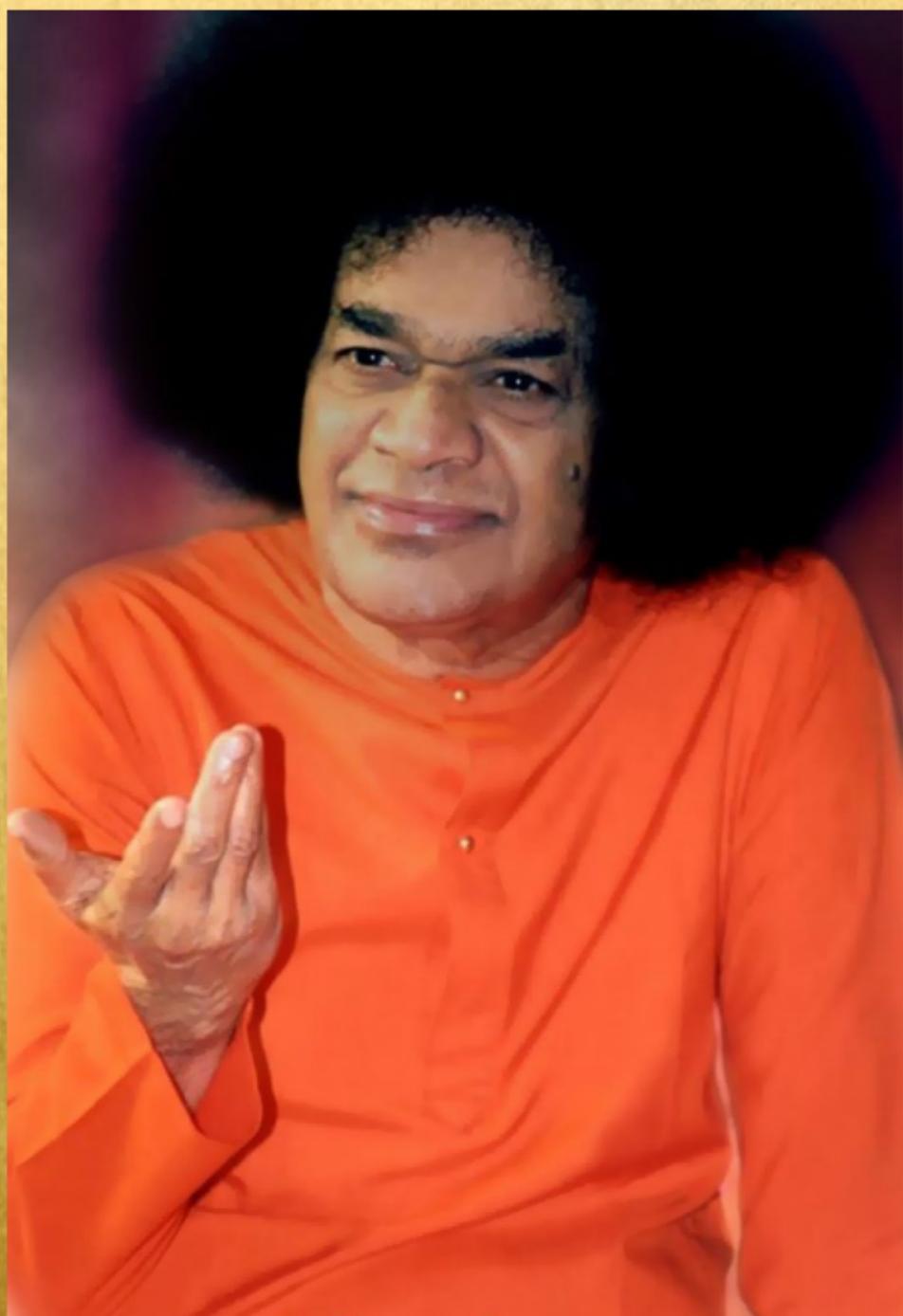
人生の真の目的とは？



一旦神に融合すれば、  
違いは全くなくなります。



そのような不二一元性（ふにいちげんせい）を経験することこそが、人生の真の目的です。





愛は常に、愛として存在します。

SAI SAI SAI



サ  
ツ  
ト  
と  
は  
？



変化することなく存続するもの、  
それがサツト（存在）と言われます。  
この存在はあなた方の内にあります。  
愛とはその甘さです。



私たちはこの愛を神に向けるべき  
であり、感覚の対象に向けるべき  
ではありません。



存在（サツト）は砂糖に例えられま  
す。神性意識（チツト）は水に例え  
られます。



水に砂糖を加えると、シロップになります。

同様に、存在と神性意識が合わされば、至福（アーナンダ）になります。



存在（サツト）はアートルマと関係しており、神性意識（チツト）は身体に關係しています。アートルマとはプルシヤ（個々の意識）であり、身体はプラクリティ（女性原理）です。個々の意識と女性原理が一つになったもの、それが人間の生です。



ゆえに、人は皆、アルダナーリー  
シユワラ（男女両性の特徴を備えた  
神）です。



身体は  
シヴァの伴侶（パールヴァティー）  
であり、  
アートマはシヴァ（イーシュワラ）  
です。



イーシュワラとパールヴァティーは  
各個人一人一人の内に存在していま  
す。この二つの側面が「マーナ  
ヴァットワ」(人間性)を作ってい  
るのです。



「マーナヴァ」とは「人間」を意味  
しています。「マ」は「くでない」  
を意味し、「ナヴァ」は「新しい」  
を意味します。したがって、人間は  
「新しくないもの」なのです。



人間は新しくないものであり、  
古いものであり、永遠のもの  
なのです。



三つの文字があります。「マー」  
「ナ」「ヴァ」です。「マー」は  
「マ―ヤー」(幻影)を意味します。  
「ナ」は「くなしに」を意味します。  
「ヴァ」は「ヴァルテインチュタ」  
(行動をとること)を意味します。



幻影に支配されることなしに  
適切な行動をとる人が真の人間です。



私の行為はすべて  
無私、無私、無私です。  
私には利己心は全くありません。



この真実を固く信じなさい。

完全に信じるなら、たとえどこにいようとも、あなたの願いは求めずともかなえられます。

完全な信仰を抱かない者のみが苦しむのです。



自己への信頼を深めなさい。

これはあなたが最初に取りかからなければならぬ霊性修行です。



今日は月曜日（ソーマヴァーラ）、  
シヴァ神が愛する日です。ゆえに、  
シヴァは、ソーマーシユワラ（月  
の主）、ソーマシエーカラ（月を  
額に付けている者）としてほめた  
たえられるのです。



この身体も月曜日に生まれました。  
シヴァの寺院ではどこでも、月曜  
日に特別なお祈りが捧げられてい  
ます。



ハヌマーンは火曜日（マンガラ  
ヴァーラ）に礼拝されます。



「ハヌマーン、今日が何の日なのか私にはわかりませんが、これほど待ち望んだ吉兆の知らせ（マンガラカーラヴァールタ）をあなたが運んできたのだから、この日を火曜日（マンガラヴァーラ）と呼びましょう。どうかこの日にあなたが崇拝されますように」：シーター



愛はアトマであり、  
アトマは愛であるという  
この真理を理解しなさい。

